

# 京都市多文化施策懇話会 ニュースレター No.12

編集：京都市多文化施策懇話会事務局（京都市総合企画局国際化推進室）

2014（平成26）年1月31日発行

## 2013（平成25）年度第2回会議を開催しました

- ＜日時＞ 2013（平成25）年10月10日（金）午後2時半から4時15分まで  
 ＜場所＞ 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン（会議室）  
 ＜議題＞ 「多文化共生と福祉」



第2回会議は、南区東九条の「京都市地域・多文化交流ネットワークサロン」で開催し、会議後は、地域の福祉施設（NPO法人京都コリアン生活センター「エルファ」、特別養護老人ホーム「故郷の家・京都」※詳細最終ページ参照）を見学しました。東九条地域は、在日コリアンをはじめとする外国籍市民の方々が多く住んでいる地域で、外国籍市民を含む地域住民及び各種団体により自主的な地域活動や多文化共生に向けた取組が活発に行われ、「地域に根付いた多文化共生のまちづくり」を実施されている地域でもあります。会議では、京都市保健福祉局生活福祉部地域福祉課及び社会福祉法人カトリック京都司教区カリタス会「地域福祉センター『希望の家』」所長の前川修氏から「京都市地域・多文化交流ネットワーク促進事業」について、「東九条地域における医療・福祉のネットワークを発展させる連絡会」の叶信治氏から、多文化共生と福祉の取組について報告がありました。

### ＜東九条地域の特性について＞

南区には、韓国・朝鮮籍をはじめ中国・フィリピン・ベトナム等の外国籍市民が多く住んでおり（2010年4.6% 国勢調査。以下同じ）、中でも山王、東和、陶化の3学区から構成される地域の外国籍市民の割合は、17.4%（京都市全体で2.2%）と、高くなっている。また、同3学区の高齢化率は2005年23.9%→2010年25.7%（京都市全体で19.9%→22.4%）と、高齢化が進んでいる。

### 報告1 「京都市地域・多文化交流ネットワーク促進事業について」

#### 1. 京都市地域・多文化交流ネットワーク促進事業とは（保健福祉局生活福祉部地域福祉課からの報告）

京都市は、1972（昭和47）年に、東九条地域の地域事情を踏まえ、地域住民の生活水準の向上に努め、健全な市民生活の育成を図ることを目的とした「生活館」を開設しました。「生活館」では、地域住民からの生活相談を受けたり、各種文化教室や貸館事業を行うなど、この地域に限定した行政主導の取組を実施してきました。

その後、市営住宅等の建設による住環境の整備等で、地域住民の生活実態の改善が図られてきたことを踏まえ、これまでの行政主導による施策から住民主体の施策への転換を図るため、多くの外国籍市民等を含む地域住民等による自主活動が活発に行われてきた東九条地域の特性に着目し、地域福祉と多文化共生の促進を図ることを目的として、2011（平成23）年7月から京都市地域・多文化交流ネットワークサロンを開設し、地域の垣根を越えた住民主体の地域交流を深める事業等を実施しています。この具体的な事業内容について、次の2で前川氏が報告されました。

## 2. 「京都市地域・多文化交流ネットワーク促進事業の実施状況について」

（京都市地域・多文化交流ネットワーク促進事業業務受託者 社会福祉法人カトリック京都司教区カリタス会地域福祉センター  
「希望の家」 所長 前川修氏からの報告）

「カリタス会」では、京都市地域・多文化交流ネットワーク促進事業業務受託者として、東九条地域の特性を踏まえながら、以下の取組を行っています。

- ・世界の料理教室
- ・「東九条春まつり」（地域・多文化交流フェスティバル）
- ・地域福祉・多文化共生に関するボランティア講座や講演会
- ・国内外大学生（韓国留学生含む）を対象とした地域福祉・多文化共生に関する研修、フィールドワーク
- ・京都市地域・多文化交流ネットワークサロン登録団体（47団体2013（平成25）年12月現在）による全体会議
- ・東九条の在日コリアンの高齢者たちへの聞き取り調査



世界の料理教室



東九条春まつり



## 報告2 — 「多文化共生と福祉～東九条・高齢者の実態から～」について—

（「東九条地域における医療・福祉のネットワークを発展させる連絡会」 叶信治氏からの報告）

叶氏は高齢者総合福祉施設東九条のぞみの園副施設長で、「東九条地域における医療・福祉のネットワークを発展させる連絡会」を通じ、地域の医療・福祉、関係機関の情報共有や課題解決などを図る活動等に関わっておられます。同氏から東九条の歴史と加速する高齢化の実態、そして福祉現場からの報告があり、主に以下の特徴や課題を挙げられました。

- ・東九条地域では、近年在日コリアン自身が福祉施設のスタッフとして活躍されている。介護に携わる人も介護される人も同じ外国籍であり同胞、というケースは全国的にも非常に注目されている。
- ・東九条地域においては、民生委員や老人福祉員のみならずが長年にわたって地域の外国籍の方に対する支援・働きかけをされている。今後、地域の方々、事業所、関係機関等の連携をさらに強め、支援の輪を広げていくことが重要である。また、その際は行政の力も得ながら進めていくことが必要である。
- ・昨今、特定の民族や国籍に対して誹謗中傷する憎悪表現などが生じているが、こういった人権問題は市民意識全体の課題でもある。また、福祉施設利用者の人権尊重（個人の尊厳への配慮や権利擁護の徹底）が重要であり、施設で働く方の人権啓発をより一層強化する必要がある。



## 各委員の意見

### 地域の多文化交流

●今後、「京都市地域・多文化交流ネットワーク促進事業」の理念や同様の機能を、東九条地域だけにとどまらず、京都市内に広げていくことが必要である。各地域に広げる際には、それぞれの地域の特性に応じた多文化交流活動拠点が存在し、さらには、その拠点同士がネットワーク化されていく、といったことが求められる。

●ネットワーク促進事業は、地域との関わりという面では、志のある方たちや、長く活動をしている方の集まりが中心となっており、地域住民全体との関わりとなるとまだ不十分である。

こうしたことから、それぞれの地域単位で、地域が抱える課題に沿った議論ができるよう、区単位や地域単位での多文化施策を考える場が設けられることも重要である。

### 地域多文化交流ネットワーク事業

●この事業は、開始されてからまだ年数が経っていないにもかかわらず、多くの成果、特に多文化交流について熱意のある方々の間のネットワークづくり、という点で成果を挙げていると思う。

一方で、市の施設として、福祉と国際化推進のそれぞれの担当部署がより緊密に連携のうえ運営していけば一層効果的ではないか。

今後ネットワークサロンでの活動を活性化するためには、登録団体用のオフィス機能や連絡先代行機能などがあれば良い。また、登録団体がイベントの練習などの目的で施設を利用するのに十分な機能が備わっている、とは言い難い部分もある。学校跡地などの施設についても、有効活用ができればと思う。

### 福祉を学ぶ留学生

●留学生には福祉・介護に関心を持った学生が多く、日本の施設で働きたいという熱意を持つ者も多い。しかし、そうした業種への就職で日本に滞在できる在留資格がないため、実際は「人文知識・国際業務」という要件の厳しい資格を取得しなければならない。

実際、福祉施設では韓国・朝鮮語を話せる人材が必要とされるケースもあり、そうした在留資格を取得した者が活躍しているところもある。これらの施設では人出不足のため、海外からの人材も募集しているが、今後は、日本で学ぶ留学生が引き続き日本の福祉施設などに就職しやすい仕組みづくりが必要ではないか。この点については行政にも協力を求めたい。

●現在、京都市国際交流会館を拠点とし、様々な交流が行われているが、限られた拠点での交流では、市民からのアクセスという点で不十分という面もある。様々な地域に外国籍市民を含めた多様な文化的背景のある方々が生活しており、複数の拠点がないと交流が難しいことも事実である。例えば保育園、幼稚園、学校など地域の拠点ごとに、日常レベルでの多様な多文化交流の取組が展開できれば良い。

●近隣地域の間で、お互いの理解が進まないこととはよくあるが、東九条地域については、近隣地域のお祭りのフィナーレを東九条マダン\*が担当するなど、イベント等を通じた交流を活発に行っている。

\*韓国・朝鮮の文化紹介などを行う多文化共生イベント

### 行政の役割

●日本には、外国籍市民等が地域社会と繋がることのできる様々な方法があるので、是非、彼らが地域社会の中に積極的に入っていくようにしていただきたい。

●住民が地域で活動する際、行政と共に取組を企画・運営することがあるが、行政の持つ力は大変大きいと感じる。今後も、行政には地域での様々な取組に関与してもらい、地域住民同士の繋がりの強化に取り組んでほしい。住民同士の話し合いなどの際には衝突が生じることもあり、これを乗り越えていくことは大変だが、こうした難しいケースにおいても、行政も一緒に解決策を考えていただきたい。

●市民レベルでの交流はとても重要である。一方で、市民と行政との連携も重要である。今後も行政の役割には期待したい。

## きょうと し ち い き た ぶ ん か こ う り ゅ う 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン

南区東九条地域の特性をいかし、地域交流や多文化共生を促進するための事業を実施しています。

〒601-8006 京都市南区東九条東岩本町31

(開館時間) 平日 9時～17時、土・日・祝日閉館

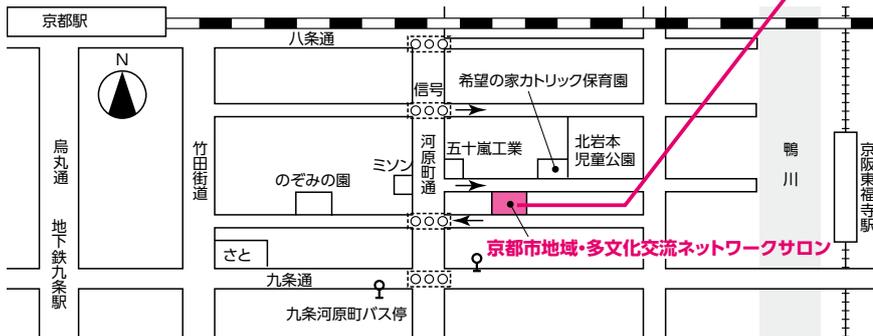
(連絡先) Tel:075-671-0108 Fax:075-691-7471

Mail:salon\_kyoto@ck9.so-net.ne.jp

(アクセス) JR京都駅・市営地下鉄京都駅八条口より、徒歩15分。

市営地下鉄九条駅より、徒歩15分。

URL: [http://www016.upp.so-net.ne.jp/k\\_salon/](http://www016.upp.so-net.ne.jp/k_salon/)



### だんたいとうろく (団体登録)

地域交流や多文化共生を目的とする団体がネットワークサロンに登録することにより、その活動がより活性化するためのお手伝いや、団体間の連携・交流を深める事業を行っています。

### りようかのう (利用可能なサービス)

- ①パンフレット等の設置
- ②ホームページでの紹介
- ③ボランティア希望者等の紹介
- ④会議室等の利用 (無料)

## ほうじんきょうと NPO法人京都コリアンセンター「エルファ」

在日コリアンをはじめ、異文化を背景にもつ高齢者・障害者を支援することを目的に2000(平成12)年に設立。居宅介護、デイサービス、訪問介護の高齢者支援事業、共同作業所を運営する障害者支援事業、多文化共生事業、子育て支援をするほか、ホームヘルパー講座を開設するなど広範に活動。デイサービスは、ハナマダン東九条、ハナマダン南京都(宇治市)、ハナマダン洛北、ハナマダン洛西の4拠点がある。

〒601-8022京都市南区東九条北松ノ木町12

TEL 075-693-2550

URL: <http://lfa-kyoto.org/>

## とくべつようごろうじん 特別養護老人ホーム故郷の家・京都

国境や民族を超え、すべての人が自分らしく暮らせることをめざしてつくられた、高齢者福祉施設。故郷の家は他に大阪市、堺市、神戸市にもあり、京都は2009(平成21)年に開設。故郷の家・京都では、新型特別養護老人ホーム・ケアハウス・短期入所生活介護(ショートステイ)・訪問介護(ホームヘルパー派遣)・居宅介護支援事業所(ケアプランセンター)等に対応しており、150人収容の文化ホールもある。

〒601-8023京都市南区東九条南松ノ木町47

TEL 075-691-4448

URL: <http://www.kokorono.or.jp/kyoto/kyoto.html>

## じむきょく 事務局からのお知らせ

本ニュースレターや懇話会に関する御意見などがございましたら、下記までお寄せください。

(懇話会の会議はどなたでも傍聴することができます。)

また、懇話会ニュースレターのバックナンバーや英語版を御希望の方は、下記までお問い合わせください。

### きょうと し た ぶ ん か し ぎ く こ ん わ か い じ む きょ く 京都市多文化施策懇話会事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 京都市総合企画局国際化推進室

TEL: 075-222-3072 FAX: 075-222-3055 Eメール: [kokusai@city.kyoto.jp](mailto:kokusai@city.kyoto.jp)

ホームページ: <http://www.city.kyoto.lg.jp/somu/kokusai/>



発行: 京都市総合企画局国際化推進室  
京都市印刷物第254884号